

平成 29 年 2 月 13 日

事業所全体による自己評価

社会福祉法人いずみ「スマイル」

スタッフミーティングによる検討 H28.12.21 13:00~14:00

事業所向け放課後等デイサービス自己評価集計並びに保護者向け放課後等デイサービス評価表集計を元にミーティングを行った。

- 環境整備面・・・職員・保護者共にスペースの狭さを示唆する結果となる。
車椅子利用児童が多く工夫はしているもののより広いスペースを望む声が多い。
2 年後をめざし法人全体の施設整備計画内で移転計画があり問題の解消をめざしたい。短期的には柵付ベビーベッド等の購入も計画中。
- 適切な支援の提供
特にパート職員からの回答と思われるが、個別支援計画における課題設定のしくみ等について分らないとの意見多数示される。
リーダー職員以外の職員へも基本的なしくみ・事業所で行っている取組をお知らせするツール（手引書）が無く、今後整備する事を目指す。
モニタリングのフィードバックの仕方についても方法が未確立なのでより良い方法を探る。
- 関係機関等との連携
学校以外の専門機関とのつながりが少ない、今後検討していきたい。
保護者との交流の場として意見交換会（年 1 回）を実施した。
- 非常時対策
保護者からの評価に有る様に、平成 28 年 7 月の水災害のり災もあり緊急マニュアルの整備、訓練の実施を今後も共おこなってきたい。
現在の事業所の所在地では水災害のリスクが残るため、将来の移転計画で対応したい。

職員ミーティング時、集計結果を基に数値に偏りがある点について討議した。

現在の利用者像（医ケア児童がいる一方で歩行が不安定な児童も近くにいる状態）を想定すると訓練室としては狭い。

抜本的には移転計画を視野に入れて問題解決を図りたい。

障害の無い子ども達との交流について、保護者からの意見からあえて交流を求めているとの意見もあり、現状のままで今後おこなないたい。

パート職員の方々にも、放デイの様々な取り組みを今後お知らせする機会を増やしたい。

以上